

平成26年度 社会福祉法人かながわ黎明会 事業報告書

平成26年4月消費税増税(8%)に始まった一年であった。経済や外交面での安倍首相の強気な発言が目立つが、我々国民の不安を払拭できているのだろうか？ 消費税10%先送りの是非を問うために衆議院の解散・選挙は必要だったのか？ 原発再稼働や自衛隊海外派遣問題も慎重さにかける感が否めない。

平成25年4月「障害者総合支援法(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律)」施行、難病患者も対象となり、平成26年4月からは、グループホーム一元化、重度訪問介護対象拡大、障害支援区分導入となった。平成27年度報酬改定は報道では±0%という表現をされているが、実質的には減収となる事業も多くなりそうである。

平成26年5月中旬からシリーズで朝日新聞紙上に取り上げられた社会福祉法人の不正利権報道は、その真偽は別にしても社会福祉法人のマイナスイメージを世間に与えたのは間違いない。「社会福祉法人の在り方等に関する検討会」が国レベルで設けられ、内部留保金問題や、法人税課税の動き、法人組織・規模・役割・透明性確保等について具体化され、一定の条件下で社会貢献の義務付けも示されている。厳しい状況ではあるが、社会福祉法人としての確固たる自負を持って、利用者の生活を護り育てて行くためのサービス充実に努力しなければならない。以下、平成26年度一年間の事業結果を報告する。

1. 実施事業

No	事業所名	事業内容	No	事業所名	事業内容				
1	くりのみ学園	障害者支援施設 施設入所支援(定員30・現員31名) 生活介護(定員35・現員34名)	4	くりのみ生活ホーム	共同生活援助(介護サービス包括型、定員4・現員4名)				
		2	くりのみ学園短期入所	短期入所(併設型、定員7名)	5	地域相談支援センターくりのみ	基本相談支援 特定相談支援事業所～計画相談支援 一般相談支援事業所～地域移行支援、地域定着支援		
3	くりのみ園			障害福祉サービス事業所(多機能型) 生活介護(定員10・現員14名) 就労継続支援B型(定員10・現員11名)			6	くりのみ学園短期入所	地域生活支援事業～日中一時支援事業(定員2名)

2. 事業結果

- 平成26年11月26日付監事・藤澤 学氏が都合により退任、それに伴い11月27日付で理事・評議員の大塚 章氏が監事に、また新任理事・評議員として津久井やまゆり園長の小林 均氏が就任した(任期は残任期間)。3期半7年に渡って監事を務められた藤澤氏に謝意を表した。
- 相模原市相談支援体制確立のため、平成26年4月に設置された官民連携の緑障害者相談支援センターへ相談支援専門員1名を専従出向させ、緑区内の困難相談事例の対応にあたった(受託費600万円)。
- 入所利用者男性77才が大腸癌により8月16日、入所利用者女性51才が乳癌により10月18日と相次いで逝去された。ともに昭和57年9月の開所当初からの利用者であった。余命宣告を受け、家族の希望により施設での生活をぎりぎりまで維持し、コンサート外出や職員付添いのもと日帰りの実家への帰宅等、QOLを意識した楽しい過ごし方を模索したが、ともに食事摂取が困難になったため最期の2週間ほどは病院での生活となった。更に入所利用者女性43才が虫垂炎による腹膜炎で緊急入院・手術、幸いにも全快した。体の不調を言葉で訴えることが難しい利用者の健康管理の難しさを痛感した一年となった。
- 日本LPガス団体協議会の補助金約200万円を得て、1月26日災害対応型LPガス貯槽及び発電設備設置工事(783万円)を完了した。災害等停電時にくりのみ学園舎内の必要な照明や弱電機器電源(電話・PC等)がLPガス発電により4日間ほど維持できることになった。また、廊下や居室等の非常照明用/バッテリー交換・修理(61万円)を実施して非常時に備えた。
- くりのみ学園舎等空調設備故障のため、修理および薬品洗浄等を順次実施、総額約280万円で緊急対応した。また、高齢者や病氣療養者対応のためにギヤッチベッド2台とリクライニング式車いす1台を整備した(100万円)。
- くりのみ学園・くりのみ園舎カーテン及びロールスクリーン類の破損が激しいため必要箇所について交換した(220万円)。平成26年2月の大雪で破損した渡り廊下屋根パネル修理(75万円)及びしいたけピニルハウス設置(47万円)を行った。3月には利用者対応の必要性からくりのみ学園201号室を間仕切り工事により個室化、第1多目的室の壁破損のため腰壁張り工事、その他小破修理工事を併せて実施した(150万円)。
- 短期入所事業延利用日数1,265日/年(うち児童2日)、日中一時支援事業793回(うち児童48回)を実施し、地域ニーズに対応した。
- 新会計基準移行のために、研修会への参加や会計事務所の指導を受けて準備し、平成27年度予算に対応した。
- 伊豆稲取温泉宿泊旅行を10月9日(木)～10日(金)実施、総勢105名で伊豆東海ホテル「湯苑」に宿泊。今回は利用者の高齢化・重度化対応策として、1日目2台の内1台のバスがゆっくり出発する形をとり、先発組は三津シーパラダイス見学・昼食、後発組は伊豆フルーツパラダイスで昼食をゆったりとる形にした。2日目は全員でみんなのハワイアンズでフラダンス等を楽しんだ。6/7スポレク大会、3/7しいたけ祭は雨であったが縮小開催した。8/8納涼祭は大学生や短大生ボランティアの協力もあり、家族や地元吉原地区の皆さんも参加、間近での打ち上げ花火の迫力に参加者一同感嘆した。クリスマス会(12/19)は前年に引き続き藤野芸術の家ホールで開催、パーティ形式で実施した。その他、地域行事及び他事業所行事へも積極的に参加し交流を深めた。
- 福祉・介護職員処遇改善加算平成26年2月・3月分(924,044円)を平成26年6月の期末手当に併せて支給。平成26年4月～平成27年1月分加算総額4,689,338円を対象職員27名に対して平成27年3月期末手当に併せて支給した。対象外職員についても自主財源により同基準で支給した。
- ネットさがみはらオンブズマン相談(10回/年)の継続、職員会議等で人権擁護内部研修を継続的に実施し、職員の利用者権利擁護意識向上に努めた。自己研修や日本知的障害者福祉協会の新任・非常勤職員向け通信講座の受講を奨励(12名受講)し費用を補助、職員の資質向上を図った。

3. 役員会の開催

期日	議題等	場所	出席者
05/14	監事監査	〒251-0201 厚木ビル8F会議室	監事:藤澤、中島、理事等:今井・小俣支援課長・長谷川事務員
05/14	評議員会 理事会	平成25年度事業・決算報告、監事監査報告、就業規則の一部改正案、災害対応型LPガス貯槽及び発電設備導入、税務調査結果、他	〒251-0201 厚木ビル8F会議室 評議員:13名出席 理事:小野寺・佐竹・安田・青木・大塚・今井 監事:藤澤・中島
11/26	評議員会 理事会	理事・評議員及び監事の一部改選案、災害対応型LPガス貯槽及び発電設備設置工事、相模原市指導監査結果、上半期運営概況報告、他	〒251-0201 厚木ビル8F会議室 評議員:13名出席 理事:小野寺・佐竹・安田・青木・大塚・今井 監事:中島
03/11	評議員会 理事会	平成26年度補正予算案、新会計基準移行に伴う経理規程改正案、平成27年度事業計画・当初予算案、苦情解決委員会報告、他	〒251-0201 厚木ビル8F会議室 評議員:10名出席(青木恒・鈴木・青木雅評議員欠席) 理事:小野寺・佐竹・安田・小林・青木・今井(青木氏は書面表決書) 監事:中島